

第八回神戸女流文学賞受賞作品
連載小説〈最終回〉

ば
ら
あし
おと
善微の登壇

菊池佐紀
題字・絵／池内 登

突然、けだものの咆哮に似た声が背後の階段を駆け昇って行く。それっきり、ひっそりと、物音一つしない静寂が周囲に広がった。泰子は眼を宙に据えた。昏い。どうしてこんなに昏いのだろう。

十七年と何個月かの歳月の間に、泰子の脳裡に刻まれた徹は、いつも泣いていた。徹が一度だって笑っていた時があったらどうか。うす汚れた乳児院の固いベットのうえで、誰にも抱き上げて貰えず、栄養の足りない瘦せた顔を口だらけにして、泣き叫んでいた徹。面会に行った泰子を見て、じりじりと後ずさりし、泣きながら保母のそばへ逃げて行った徹。とし子の家で従兄たちからかわれて蔑れて口惜し泣きに泣いていた徹、母親の自分が今までに流した涙より、私生児の徹が流した涙の分量の方が比べようもなく多かったのではないだろうか。

自分は大造という男によって「愛」を知った。徹は、その愛さえ、知らないでいる。蹲った泰子の肩が、小刻みに動いた。

翌朝、徹は家を出て行った。牡が牝を狙うあの昏い眼差しにさえおびえなければ、泰子は二階へ上って行けたのだ。その夜はベッドへも這入らなかった。夜っぴいて

階段の前を行ったり来たりしながら、泰子は沈んだ目をしていた。あす、明るくなったら、話をしよう。今夜は駄目だ。上ってはいけない。

あの徹の目を以前にも感じたことがあった。あら、あなたの爪、伸びてるわね、切って上げようか。自分の爪を綺麗にしたついでにテレビの野球に夢中になっている徹の右手を何げなく握った。すばしこい勢いで、徹は泰子の手を振りほどいた。爪切りが飛んで、床へ落ちた。あ、徹はすぐそれを拾い上げたが、妙な雰囲気になった。あの時の複雑な目の中の昂ぶり。ポロシャツやランニングは素直に洗濯籠へ入れたが、ブリーフをどこかへ隠しこんでしまっ、どうしても出さない徹。一つ踏みはずせば、男と女の関係にのめり込むかも知れないそんな危険な予感が、夜中に徹の部屋へ行くのを阻ませた。徹も、とうとう、降りて来なかった。

振り向きもせず、薔薇の残骸を踏みしだいて出て行く徹の登音に「こつこつ」と優しい登音が入り混っているのは、大造の靴の音だ。

「来年も、この薔薇、きれいに咲くだろうな。」



と見える。海辺で陽に長く当たっていたので疲れたのだ。そう言えば、大造が死んで初めて、夢に顔を見せて呉れた。と思うと泰子は、しんみり、となった。微が出て行く後ろ姿の左肩の下り具合まで、あの日とちっとも違わず、はっきりと見た。色のついた夢など、今までに一度も経験がなかったのに、空にはじけ飛んだ花と蕾の彩どりまで、目蓋の下に鮮かに残っているのだ。

ソファーに坐り直すと、足を組んだ。銀に彫琢をほどこしたシガレットケースから煙草を抜き取り火を付ける。大造があの日忘れて行ったものだ。これだけが形見になった。大造と死に別れてからたばこを喫むくせがついていた。女がたばこを喫むのは、寂しいからだ。満ち足りた女が、どうしてこんなものを口ににくわえて、空しい煙を吐き出したりするだろう。

あの白い孕み犬はどうしただろう。あれから四日経っていた。三日の間というものの、梅雨の終りの、雷を伴った雨に降りこめられて一度も外へ出ていなかった。二階の窓から覗いても、海は空と繋って灰色ひといろに塗り潰され、蒼い海原はかき消えている。ベッドの上で泰子はただ眠り、目醒めると郵便受けを見に行った。

ハガキ一枚入っていない。

電話のベルが鳴る。飛びつく、出て来るのか来ないのか、ぎりぎりの決着をつけて欲しい、来れないのだったら、代りの若い裁断師を入れるからと、洋服店の店主は、普段のさあまず調をかなぐり捨てて、受話器の向うでいきい言った。平年よりは早目の梅雨明け宣言が今朝、テレビから流れていた。ふうっと、明日からでも、店へ出て見ようという気になったのは、あの日、大造の笑顔を夢ではっきり見て、心が落着いたせいかも知れない。

大造がにこやかな顔を泰子に振り向けた。気にしないことだよ、泰へえ。微くんはまたきつと戻ってくるよ。

ソファーに手枕したままで寝ていた。カーテンを閉めていない縁側のガラス戸越しに、昏れかけた外部の薄い闇が見える。長短の植木のかたちが少しぼんやりと角が取れてはいるが、それぞれに見透せるから、時刻はさほど進捗してはいるまい。海の散策から帰って来て、むさぼるように水を飲んだ。午睡を取ったあと、パンと紅茶で軽い食事をして、また他愛なくねむりこんでいたもの

い。明日からきつとです、間違いないですね。と店主は念を押して。あすからきつと出ますから、長い間勝手をして申し訳ありません。と素直に詫びると、注文が溜ってどおにもならなくてね、それやあ有難いわ。と相手の声音が急に優しくなった。

明日からは散歩どころではなくなる、働かねばならない。もう一度だけ駅へ行ってみようと思った。俯向いて歩くせは直らない。坂道の途中ですれ違った人が、会釈したらしいのを、二間ほども先へ行って、はっと気付いた。男か女か、それも定かではない。空を見上げると、光が眩しかった。眩しすぎる。土の中に籠っていたもぐらが急に地上へ這い出て来たように、明るい光と違和感があった。所詮、自分は陽かげの中にしか生きられなかったのだから。大造との愛も、古い言い草かも知れぬが、陽かげに芽生えた愛だった。微もそう。一文の金も持たないで微は何処を彷徨っているのだから。どの予備校に問い合わせても、微が在籍している風もなかった。

微が去ったあとと数日経って、押入れを開けてみると、洋服ケースの中から画帳が出てきた。めくって見ると、素描の絵が四、五枚残されている。横を向いた泰子、笑っている泰子、手でこめかみを支えて考えこんでいる泰子。実物の泰子よりどの姿も若やいで、美しい。いつも頑くなに背中ばかり向けていた微がいつ、観察していたのだからかと泰子は暗澹となった。あの画家の卵が、泰子の肖像画を一枚でも画いて呉れたことがあったらどうか。一枚だけ剥ぎ取っていったあとがある。絵を手でなぞりながら涙が溢れ出た。無条件で愛をそそいでくれた大造に比べて、微は、条件付きで、やはり自分を愛しているで呉れたのだ。あれほど美大へ行きたくっていたのに許してやればよかったのだという深い悔いが残って、自分の頑くなさが責められた。でも、微に絵がある限り、微は自分の命を放棄したりはしないだろう。そんな確信が泰子に生れていた。無残に掘りをがされた薔薇の根をもう一度植え変えると甦る見込みはあったが泰子はそう

しなかった。残骸を庭の隅に一まとめにして、枯れるのを待つて処分してしまった。火炎の中で、まだ充分に枯れ切っていない薔薇の木は、切なげに肢態をくねらせて悶え、呻く。薔薇の残骸から立ち昇る紫煙に包まれながら、泰子は薔薇の終焉の叫びを聴いていた。薔薇の群れの消えた庭は佻しい。でも、「ペラの中で暮すこと」は、所詮、束の間の幻影だったのかもしれない。その薔薇の幻影から早く逃れたかった。華やかな花たちを失ったブロック塀の内側は荒廃した空間の広がりを見せて、今も沈黙を続けている。平旦になった代赭色の庭土に、そのあと黒いわらじ虫が塊になって棲息し始めた。まるで薔薇の喪章のように。白い根の残りが所どころ土から顔を出しているのを見るのは、流石に辛かった。

駅が見えて来た時、泰子は、あ、と声を出して立ち止った。足を速めると、今度は小走りに走って行った。改札口の横に、あの白犬が居た。頑丈そうな鉄柵作りの犬獲りの檻の中に入れられたあの孕み犬は、まん丸く蹲って寝ていた。犬は足音を聴きつけると、後むきに食った尖った耳を、びくつ、と持ち上げた。うす目をあけて泰子を見上げると、けだるそうに立ち上った。乾いた鼻を鉄柵のあいだから突き出し、目やにの溜った濁った目でじつと泰子を見詰めた。ありふれた犬猫の目と異質の、どこかにんげんの眼差しを思わせる表情をしている。肥ったあの駅員が、早目の弁当を済ませたらしい歯を、爪揚子でせせりながら近寄って来た。またか、とその目が言っているようで気がひけたが、訊いてみた。

「この犬、どうしたんですか」

「この付近を長いことろついでいたんですがね、子供の足に噛みつきかけて、その子の母親から文句が出たんでね、ゆうべ仕掛けたこの檻にひっかかったんですよ」

男は犬嫌いといえて、いざまだというふうに着意げに吹聴する捕獲箱の中央にぶら下った鉤の先に、ちぎった半個分のあんぱんがあった。あんぱんに釣られて檻の



「こんな、汚ない犬」

と駅員はまた嗤った。

「引き取って養ってくれる酔狂な人居るもんかね」

「でも、首輪してるわ」

「首輪？ああ」

「迷い犬でしょ、きっとそうよ、捨てる気だったら、飼い主は首輪はずすでしょう」

「いちいち、そんなことするもんかね」

駅員は自信有りげにそう言う。と靴の先で鉄柵を軽く蹴り上げた。牝犬は、鼻を引つ込めて身構える。と、おびえた目を駅員に

中へもぐりこんだはずだろ、出口の柵を閉め切られて逃げ場がないのが判ると、もう、餌には見向きもしなかった。傘をさしたまま泰子はしゃがみこんだ。傘の丸いかげりの中へ日向に晒されて喘いでいる犬が、すっほりはまり込む。

「どうなるんです？この犬」

「どうなるって、それやア、あんた」

と駅員は嘲るように、

「昼までには保健所からお迎えが来ることになるとるんじやが、なかなか来そうにないよなあ、もう、十二時じやが」

齒列の間にひっかかった弁当のおかずの残滓が思うように取れないのに苛ついて、ちっ、ちっ、と歯をすすりながら、早く厄介払いしたそうに、男は腕時計を見ている。

「誰か、引き取り手ないのかしら」

振り向けた。勝ち誇った男の目に射すくめられた犬は、そっと、視線を泰子の方へ転じた。きのうまでの雨に濡れそぼれた深い毛がまだ乾き切っていないで、ひ弱な汚ない足をしていた。うす桃色の乳房の先端が赤いを見ると、目を反けて泰子は立ち上った。

「子供に噛みつく犬は危険だよ、野放しにはして置けんよなあ」

線路を互りかけた泰子の背中に、駅員のくどい声が追っかけてきた。食べものがないから、犬は苛立って、焼き鳥賊をしゃぶっていたという幼児に飛びついたのだ。にんげんでも飢えていれば盗みだつて、追剥ぎだつてしかねないのに。駅員の満腹してせり出した腹が、むかついた。自分の弁当を少し分けてやればよいのに。

磯の匂いをつん、と嗅ぎながら、保健所の処置室であの犬は、どんな方法で処分されるのかしら、と考えたくないことを考えていた。自分とは無縁の犬だ。考えたっ

て、どうしてやることも出来ない、看過してしまおうしかなかった。

海辺へ出ると、陽差しが急にきつくなつた。海面の隅々まで光が行き届いて、目の醒めるような藍に彩られた海は今日もゆったりと飽きさせぬ攪拌作業を繰り返している。すぐ足の下に、広大な海の裾野が白い飛沫をあげて心ちよい潮騒の音を立てている。幾百万ともしれぬ海の魚たちが海面に浮上して背びらの銀鱗を見せて眺めているのかと思うほど、白銀色の海づらが眩しかった。

こうして海を眺めていると、大造も徹も、実在した人間であつたかどうか、自分の存在感すら次第に薄れ始めていた。この自然の造化の妙の前に佇つと、自分の思いや惑いが、やくだいもない卑小なものに思えてくる。自然の掌の中に乗せて一吹きすれば霧消する墨粟粒ほどの身が、四十年の歳月を碗き悪い、未練げに喚いている。自分はこのからどう生きたらよいのだろう。海は教えてくれないだろうか。そう思つて耳を傾けると、潮騒が、呻き声に聴える。この海だつてにんげんの及びもつかないところで悩み、煩悶しているのかも知れないのだ。

足下で碎ける白い波しづきが、白犬のかたちに一瞬、見えた。妊み犬のことが頭から離れない。海に背を向けて歩き出そうとして、泰子は、あ、と声をあげた。あの青いベンチに、四日前に出逢つた青年が、寝ていた。あの日とそっくり、肢を長ながと伸ばし、胸に両手を組んで若者は目を閉じている。繁つた楠の葉叢越しに洩れてくる光の碎片が、青年の頬や腕をまだらな黒白模様に染め上げている。

眠っていると思つた青年が、目を開いた。眩しそうに瞬いた目がこちらを見上げて、泰子の落した視線と出逢つた。若者の陽焼けた顔が寝たままで柔和に綻び、ゆつくりと上体を起して、足を地に付けると、青年は少し笑つた。泰子も微笑み返した。よく出会いますね、お互いに。目でそう言い合っている。

青年は、駅舎の方角へ歩き出した。大きなズダ袋を左

肩に引っかけて、均整のとれた伸び切つた後ろ姿が、一息する間にもう線路を互り、軽がると歩を運んで、バス停で止つた。タイミング良く走つて来た特急バスに乗りこんだ青年のおぼろな輪郭がバスの窓越しに掴めたが、それもすぐ泰子の網膜から消え去つた。二度偶然に出逢つたあの若者と、もう逢うことはないだろう。逢つて又、人は別れ去る。当り前のことなのに、奇妙な佗しさが胸に翳を落す。

青年が残した笑顔が、爽かに甦つた。きれいな、色の好い歯ぐきをしていたと思う。それなのに、徹の歯並びや歯ぐきの色も泰子は覚えていなかった。徹は泰子に歯ぐきを見せるほど親しい笑ひ方をしなかつたせいだろうか、と思うと複雑な気持ちに捉われる。やはり寂しかった。線路の向うで、犬の悲しげな哭き声があった。

止つていた電車が発車して行つたあと、遮断機が上ると、赤い旗を持ったあの駅員が、声高に何か喋っているのが見えた。檻の前に男が二人立って、犬の品定めをしていた。途切れとぎれに、犬は男たちに向つて吠えた。声が弱々しい。保健所から差し向けた車に、犬をどうやって積み込むか、相談しているらしい。

「おとなしそうだから、あばれはせんよ。鉤を首輪にひっかけて引つ張り出せよ、早よ」

先端がステッキ状に曲つた長い金棒を檻の中へ差し込むと、吠え立てても叶わない相手だと悟つたのか、隅っこへ縮つて、おびえ切つた目を男たちに向けている犬の首に喰いこんだ粗末な首輪に狙いをつけて、男は引っかけようと焦っている。犬は小さな頭を振り立ててて精一杯、碗いた。

「檻が大きすぎるよな、ライオンでも這入れそうぞだ。」
「もう一晚、空檻を置いとくんぞだ、また野犬がかかるかも知れんけんぞ」

「もうちよつとだ、それ」

と肥つた駅員が赤い旗を振っている。鉤が今度は犬の首輪にかつきりと嵌まりこんだ。

「獲ったぞ、早よ外へ出せえ」

金棒をぐい、と手前へ引き寄せても、犬は蹲ったまま出ようとはしない。しっ、しっ、と後ろへ廻った別の男が叱声をあげると、ずるずると檻の中を曳きずられて犬はやっと檻の外へ出て来た。車の後尾から地上に下した渡し板の上へ男は犬を追い立てる。そうされまいと犬は四肢をけんめいに踏んばり、爪が土の中に喰い込むほど頑張っている。精一杯のけぞらせた顎から、悲鳴が洩れた。

犬の目が横目使いに泰子を見た。牝犬は哀願するように泰子を見詰めた。目が赤くうるんでいる。まるで涙が溜っているようだ。

「この犬」

と泰子は叫んだ。

「私に下さいよ」

え？と訝しそうな男たちの目が泰子に集中する。

「下さいって、あんた、どうしてまた。これ、あんたとこの犬け」

「違いますけど、飼ってやりたいんです」

へええ、と呆れたという風に駅員がつくづく泰子を眺めて、

「もの好きなひとだな。それにこの犬、もうすぐ子を生むのに、仕末に困るんじゃないの」

「なんとかします、なんとかしますから」

「それやア奥さん、あんたんとこで責任持って飼うて呉れるんならこっちも手間省けるけど、なあ、おい」

うながされた相棒も、うん、それやア、と頷く。

「子供に噛みついたわけじゃなし、飛びついた、というだけじゃけん、良かろ」

話がまとまると、肥った駅員が、ちよつと待ってな、とそれでも駅舎の中へ駆けこんで、細い真田紐を持って出て来た。牝犬は自分の運命が危いところで助かったのが判るのか、大人しく坐って、白い紐を首輪に通している泰子のするがままになっている。尻尾をちぎれるほど

振っている。

「奥さん」

と、傘の中にできた僅かな日蔭の中へ牝犬を強い陽射しからかばうように入れて、細紐をたぐりながら坂道を昇って行く泰子の背中へ、男の大きな声が飛んだ。

「早いうちに一度、狂犬病の注射に来て下さいよ、それから、新しい登録も忘れんようになあ」

妊み犬を引き取ってこれから先、厄介なことになるのは分かっていた。犬は素直について来る。帰ったら冷蔵庫の中の冷えた牛乳を存分に吞ませてやろう。風呂場で洗って汚れた毛並をきれいにしたい。明日からまた電車に乗って、勤めに出掛ける自分の帰りを、犬は待っていてくれるだろう。ちぎれるほどこの尾をふって、迎えてくれるだろう。

沈みこんでいた気持が奇妙なほど弾んできた。素顔に陽が痛い。あしたから、と泰子は思った。お化粧を少ししてみよう。長いこと素顔でいたのだ。しぼんでいる風船を膨ませた子供のように明るい表情になっていた。生きる希望が見付けられそうに思えた。手足に力が籠った。泰子は梅雨あけの午後のきつい陽射しの中を息を弾ませて、坂道を昇って行った。

(了)



あとがきとおん礼
今年一月の授賞式の夜は、神戸の未知の皆様方と暖いふれ合いをさせて頂き、本当に感激でした。主婦である私の平凡な人生を彩ってくれた華やかな祭りでの手触りは終生忘れるものではありません。第一回掲載のページをめくって見て、池内先生イラストのすばらしさに絶句いたしました。都会的なセンス溢れる精巧な絵は拙作を引き立て、夢を与えてくれます。それに、女主人公の泰子を美しく優しくイメージづけてくれます。これは作者にとって大きな喜びでした。池内先生の芸術に改めて敬意を表しますと共に、心から感謝を述べさせて頂きます。

知性の街、ミナト神戸の皆様御健勝と、「月刊神戸子」のますますの御発展を、ヒロインの泰子とともに、お祈り申し上げます。

一九八四年、初冬

菊池 佐紀

△愛媛県北条市にて▽

わらびの里

昭和六十年

新春重詰



●新春重詰(寄せ木三段重)七〇,〇〇〇円(右・写真)
 ●新春重詰(黒色二段重)三〇,〇〇〇円
 ※ご予約承ります。(限定販売ですのなるべくお早目にご予約下さいませ。)

京料理
 わらびの里

■芦屋店

芦屋 打出小槌町30

TEL (0797) 235666

営業時間：午前11時～午後10時(駐車場有り)

京都本店：京都・山科区小山中島町28

TEL (075) 591・0911

新宿店：東京・新宿区西新宿2の4の1

新宿NSビル1F

TEL (03) 349・8789

※新春重詰のご予約は大丸芦屋店・大丸神戸店・そごう神戸店のわらびの里店頭にてお願い致します。

スポーツはすべて基本から

スクール生募集中!



教室案内/剣道・杖道・薙刀・居合道・柔道・空手道・合気道・少林寺拳法・大極拳・クラシックバレエ
●ミニバスケット●親子体操●幼児体操●バトントワーリング●小学生体操●ジャズダンス●ヨガ

まいあがれスポーツごころ

SPORTS CLUB ROKKO

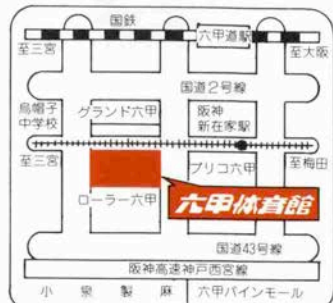
六甲体育館



入会申込み受付中 入会金3,000円・年会費3,000円

お問い合わせ・お申込みは 神戸市灘区新在家北町2丁目

☎078(841)1084



神戸のうまいもとドリンクング

★日本料理

- 讃岐名代うどん あこや亭
三宮店 ☎332-3033
兵庫駅前店 ☎575-5306 住吉店 ☎453-3737
- 北海道郷土料理 蝦夷
中央区中山手通1-4-13
東門前東門会館ビル1階
- 和食 食べきれない
三宮生田新道浜側中央KCBビル2F ☎331-0494
- 料亭 布引大しま
中央区橋内町4-8-19 ☎221-1945
- たこ焼 たちばな
三宮センター街(旧橋筋) ☎331-0572
- 長寿 御食事処 五事
炭焼ステーキ
元町3丁目山側 ☎391-3156
- トリドリ 木曾路
中央区北長狭通2-5-1
タイシンヤンセットビル ☎391-3028
- 手打ちうどん 花銀
三宮市役所前KビルB1F ☎231-1295
- 鯛 花銀
中央区二宮町3-10-16 ☎222-2323
- どじょう 吾作
中央区元町通2-7-20 ☎321-0539
- 鯛・しゃぶしゃぶ 三十三間堂
神戸ワシントンホテル2F ☎331-6111
- 割烹 銀坐
神戸ワシントンホテル2F ☎331-6111
- 甘党 べさら茶屋
阪急三宮西山側レインボープラザ1F ☎321-6363
- 大衆 菊
中央区中山手通1 寛神ビル3F ☎331-2878, 332-3365
- 手打そば 庵
市役所花時計北・ハニービルB1 ☎331-0260
- 季節茶屋 一輪一房
中央区三宮町1-8-1
さくらプラザB1F ☎331-2280
- 天ぷら 天ふじ
中央区北長狭通2-5-17
サンセット21ビル1F ☎392-3630
- SAKE 喜兵衛
KAISEKI
中央区山本通2-1-1
コーナールーム2階 ☎242-5411
- しゃぶしゃぶ 佳屋
すきやき
中央区北野町2-1-11
炭焼ハウス1F ☎242-1336

★各国料理

- レストラン グリルア コ
中央区生田町1-4-2F ☎242-2020/0
- レストラン 皮くあらかわ
中央区中山手通2-15-8 ☎221-8547・231-3315
- ステーキハウス グリル青山
中央区下山手通2-14-5(トアロード) ☎391-4858
- スキャンディ料理
と世界の民族音楽の店
ゴックスタッド
中央区山本通3-1-2 回教寺院前 ☎242-0131
- 佛蘭西料理 果林
神戸ブラザホテル2F(元町駅南) ☎331-4558
- すていきハウス 長崎
神戸市中央区布引町2-3-16 ☎221-1086
- レストラン 花扇
中央区元町通1-3-6 Lビル2F ☎331-8911
- メキシコ小料理亭 ティファナーナ
中央区中山手通1-21-13
パルコビル1F ☎242-0043
- フランス料理 ビストロドゥリヨン
中央区山本通2-13-6 ☎221-2727
- レストラン 麻布キャンティ
中央区北野町4-1-12 異人館倶楽部 ☎222-5380
- maison de la mode 花屋敷
三宮フラワーロード市役所前 ☎251-2109
- ポルトガル料理 海産物
神戶港第4突堤ポートターミナル ☎331-0301
- レストラン フック東店
中央区栄町通1-2-14 ☎321-3207
- シーフードバー ムーニークルーズ
三宮・生田路 ☎331-8980
- 喫茶・レストラン カフェパウルスタ
三宮・トアロード(パウルスタビルB1) ☎391-0061
- ステーキハウス れんが亭
中央区下山手通2-5-5 ☎331-7168
- BARBECUE & STEAK 六段
中央区元町通3-8-4 ☎331-2108
- レストラン フック神戸店
中央区栄町通2-9-11 ☎321-3453
- サンパティ
とブラジル料理
コパカバーナ
中央区中山手通2-1-13 ☎332-6694・6697

- ドイツレストラン ハイデルベルグ
中央区山本通2-8-15
ローズガーデン2F ☎222-1424
- シルクロード料理 ぶはら
スパイスレストラン
三宮町2-3-9 タキビル2F ☎331-1734
- The grill BOB(ボブ)トアロード西山側
中央区北長狭通3-1-2
ファーストバフ2F ☎392-2500
- 神戸ビーフ登録指定店 和黒くわこく
中央区中山手通1-24-1
ビルサイドテラス1F ☎222-0678
- 炭やきステーキ 凱旋門
中央区下山手通2-10-4 新道ビル1F ☎392-3655
- スコッチ&ローストビーフ ガスライト
神戸ワシントンホテル9F ☎331-6111
- フラメンコとスペイン料理 エル・パンチョ キタノ
中央区北野町3-2-4
アニマル・マニション1F ☎241-1344
- 中国料理 萬壽殿
中央区中山手2-20-4 ☎231-4531
- フランス料理 ルー・サロメ
中央区中山手通2-3-7
第2次門前ビル1F ☎392-1251
- 北イタリア料理 ベルゲン
中央区山本通2-3-2 ☎241-6952
- 炭火焼肉 キムズギャラリー
中央区中山手通2-3-19
ロータリーマニション中山手1F ☎332-2900
- ステーキハウス 伊藤
中央区御幸通7-1-20 大信ビル8F ☎232-3031
- レストラン GOONIY(炭焼ステーキ)
中央区北長狭通3丁目 ☎321-3540
- 炭焼ステーキ フランス料理 GOONY KITANO(グーニー)
中央区北野町4丁目 ☎242-2562
- KUSIKATU 花串
中央区三宮町2-9-2 ☎391-2617
- フランス料理 シャンテクレール
三宮ターミナルホテル4F ☎232-1682
- フランス特産料理 トゥールドール
中央区灘筋山公園展望台 ☎241-0168
- ステーキ&ドリンクス 神戸館
中央区下山手通2-2-9
アマツビル1F ☎321-2955
- 広東料理 神戸元町別館牡丹園
元町通1丁目協和銀行北側小路西入
☎331-5790・6611

★喫茶

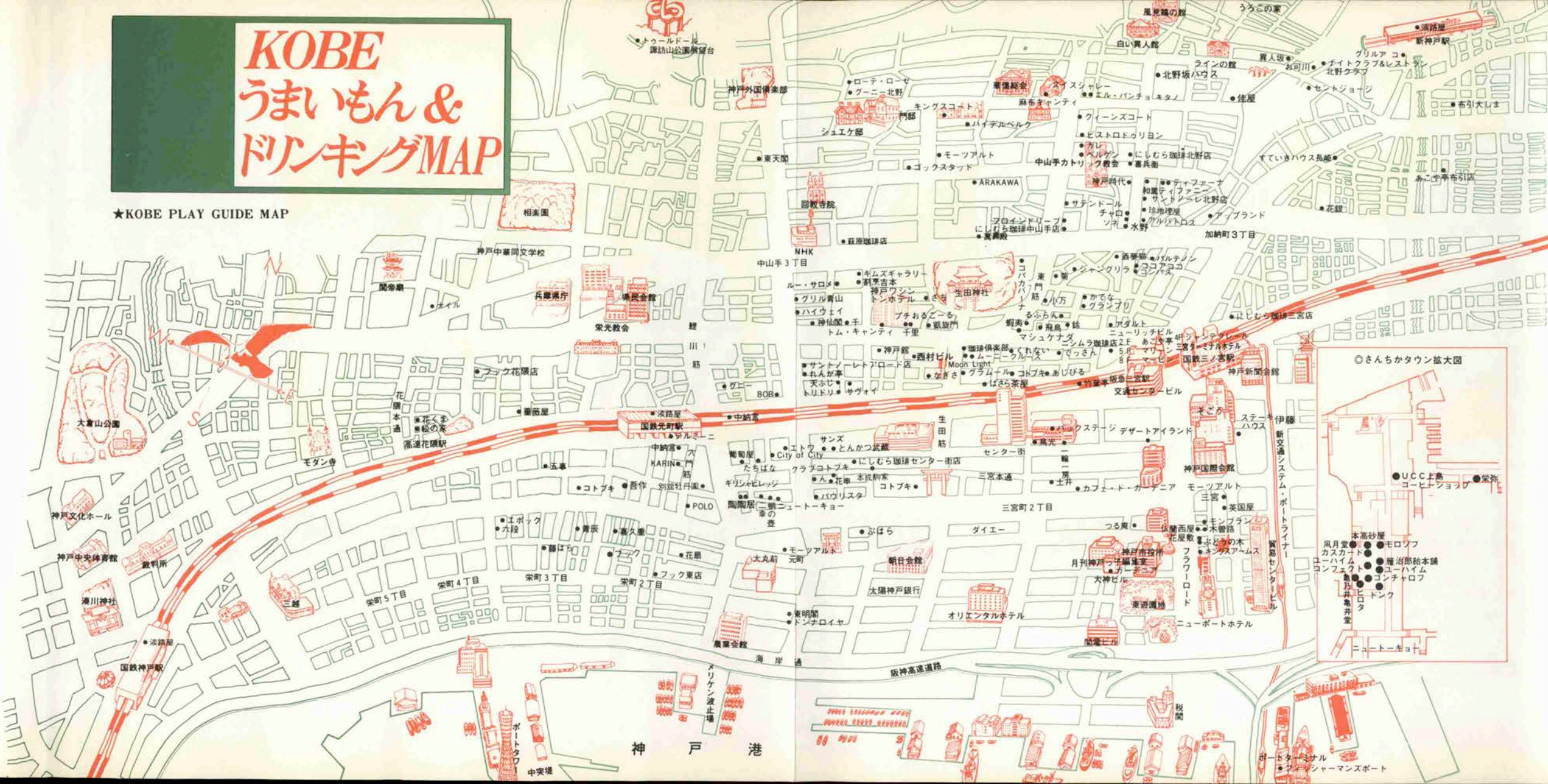
- 喫茶 ガーデニア
中央区東町113-1 大神ビル1F ☎321-5114
- 喫茶 カフェ・ド・ガーデニア
中央区二宮町3-8 大和ビル ☎392-4004
- LE CAFE ガレ
中央区山本通2-3-14 ☎242-7144
- 宮水のコーヒー にしむら珈琲店
中山手通・中央区中山手通1-26-3
☎231-1872・231-9524
三宮店・国鉄三宮駅山側 ☎241-2777
センター街店・中央区三宮町10-27 ☎391-0669
北野店・山本通2-1-20 ☎242-2467
(会員制)3F事務所 ☎242-1880
阪急・三宮東1山側 ☎332-5727
- 珈琲 モーツァルト
中央区山本通2-6-11
グラウンドマニション1F ☎241-3961
- サンドイッチハウス ココアココ
中央区加納町4-7-11 ☎392-4031
- 珈琲 さん
中央区三宮町2-9-6(トアロード) ☎391-1589
- 喫茶 館 英國屋
神戸国際会館済済側 ☎251-4562
- 喫茶 館 葡萄屋
三宮センター街3丁目 ☎391-9006
- 喫茶 館 仏蘭西屋
三宮・フラワーロード(神戸市役所前) ☎232-4643
- デザート喫茶 ぶどうの木
三宮・フラワーロード(神戸市役所前) ☎251-3231
- ウーロン菓子 モーツァルト三宮
中央区磯上通8-1-29
おサベビル1F ☎251-3616
- ウーロン菓子 モーツァルト元町
中央区三宮町3-1-1
神戸大丸向い ☎332-0886
- 茶房 ナイール
中央区下山手通6丁目2-7 ☎341-7376
- 喫茶 モンブラン
フラワーロード市役所前Kビル1F ☎231-3605
- ドイツインフービー
プティック
ローテ・ローゼ
中央区北野町4-9-14 ☎222-3200
- ヨーロッパ
カフェ・ド・パリ
神戸ワシントンホテル2F ☎331-6111
- TEA ROOM & LITTLE SHOP ファミリア北野坂ハウス
中央区北野町2-8 ☎222-3535

- 喫茶 チヤロ
中央区中山手通1-24-10 ☎241-5470
- コーヒーラウンジ City of City
中央区三宮町3-9-1 ☎331-1117
- ティー&スナック エポック
中央区元町通3-8-8(浜側) ☎331-3694
- 喫茶 テルミーニ
中央区国鉄元町駅側 ☎332-1682
- 炭火焼珈琲 珈琲倶楽部
神戸市中央区北長狭通1-10-6(生田路)
ムーンライトビル1F ☎332-2016
- 炭火焼珈琲 萩原珈琲店
神戸市中央区中山手通2-21-3
☎222-1457
- Salon & Cafe BLUE MOUNTAIN
神戸市灘区八幡町4-6-16
(阪急6甲駅下車南1西南約3分)
- club 飛鳥
中央区中山手通1-2-6 ☎331-7627
- club 小万
中央区東門前中島ビル3F ☎391-0638・4386
- Member's Lounge 異人坂
中央区北野町2-9-22(三本松不動北) ☎222-2001
- club ささち
中央区下山手通2-17-13 ☎331-7120
- クラブ 千
中央区下山手通2-12-6 ☎391-1077
- club なぎさ
中央区北長狭通2-11-2 ☎331-8626
- クラブ するらん
中央区中山手通1-3-1 ☎331-2854
- club Moon Light
三宮・生田路Club ☎331-0157 | Bar ☎331-9554
- club コトブキ
中央区三宮本通り ☎331-1875
- ★STAND & SNACK
- レストラン BAR 薔薇屋
中央区北長狭通5-5-22 ☎351-4311

- サロシアルパトロス
中央区中山手通1-22-10 ☎231-3300
大和ナイトプラザ2F
- ブチヤンソン エトワ
神樂の家
中央区三宮町3-8-12 ☎332-1755
神戸アロード三宮センター街西入口スカイ・アビル3F
- Theater pub トム・キャンティ
中央区下山手通2-8-2
神戸ワシントンビル1F ☎331-2122
- スタンド グラムビル
生田路ラビエ地階 ☎331-4637
- サロシ 神戸時代
中央区中山手通1-23-10
モンシャットコビル ☎242-3567
- カクテルラウンジ サヴオイ
高麗山側 テキの店北 ☎331-2615
- ミュージックラウンジ サントノール
アロード店 中央区下山手通2-5-6 ☎391-3822
北野店 中央区中山手通1-22-10 大和ナイトプラザ6F ☎221-3886
- スタンド 千里
中央区下山手通2-11-1 ☎331-4730
K.S. Mビル1F
- 茶舌 湖でっさん
中央区北長狭通1-5-12 ☎331-6778
- STAND マシユケナダ
中央区中山手通1-4-6 ☎331-5587
ユービル4F
- WINE & RESTAURANT 酒夢猫
中央区中山手通1-13-14 ☎332-3308
神戸酒販ビル2F
- 末広光夫のミュージックサロン ティファニー
中央区中山手通1-21-13 ☎241-1771
- Wine and Something -珍地理屋
中央区中山手通1-22-10 ☎242-0288
大和ナイトプラザ1F
- レジャービル 西村ビル
中央区北長狭通2-12-10(生田路) スーパー・ステーション
ランダムハウス45rpm 虎造 薬師 エスカイクラブ
- スタンド からな
中央区中山手通1-7-10 英橋ビル1F ☎331-1316
- LOUNGE パルテノン
中央区加納町4-8-13高橋ビル3F ☎391-4123
- スナック アダルト
中央区北長狭通1-20-2 笹原ビル5F ☎321-5885
- Space Bar MARVIN
中央区北長狭通1-2-13 ニューリッチビル8F ☎332-6108
- CAFE RESTAURANT & BAR MARLENE
中央区北長狭通1-2-13 ニューリッチビル5F ☎331-9050
- お食事&スナック 亜子のKITCHEN亭
中央区中山手通1-7-6 ニュー友藤ビル2F
☎391-5330

KOBE うまいもん & ドリンクMAP

★KOBE PLAY GUIDE MAP



A HAPPY WEDDING



♥ 恋愛時代の甘い思い出は残したままで…

小野佳俊・勝代さん夫妻

昭和59年10月10日挙式
神戸平安閣

(神戸電鉄勤務・神戸市在住)

「彼と私の性格は、全く反対で、彼はひとつのことにこだわって、おっとりしているんです。でも、私のいうことは何でも聞いてくれるんですよ」といつてくれた勝代さんの笑顔が大変印象的でした。佳俊さんと勝代さんは2年間の甘い恋愛時代を経て、ゴールイン。スポーツマンの彼としっかり者の彼女は、ナイスカップルです。

総合結婚式場



平安閣

神戸／神戸市兵庫区新開地3丁目2-15
阪神／尼崎市昭和通5丁目182

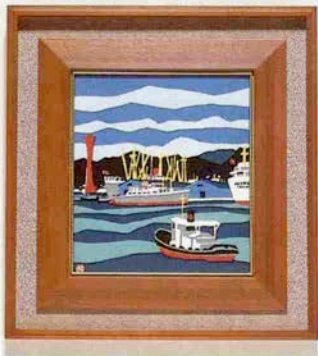
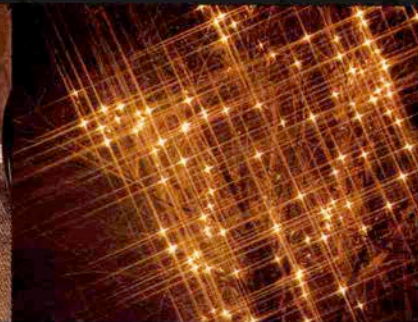
サンゴクイ子のサンサンド
☎(078) 351-3390
☎(06) 413-3303(代)

KOBE HEIANKAKU



HANSHIN HEIANKAKU





●画材・額縁
末積製額
 トアロード・大丸前 ☎3321-2325
 港町神戸のクリスマスは、ネオンが
 彩りファンタスティックです。独特な
 神戸画にも、あじわいが増します。



●オーダーメイド・紳士服
アダムG(岡田巖)
 神戸国際会館3F ☎231-3575
 冬の訪れとともに、コートは
 一着いかがですか、ご要望に
 合わせてお仕立ていたします。

TAILOR
ADAM G



●べつ甲
太田べつ甲店
 元町1番街山側 ☎331-6195
 珊瑚・塗り・べつ甲であしらったか
 んざし。年始に向けてのお買物にぜひ
 どうぞ。



●「手づくりの心をつたえる」
Cascade
 北野坂店 ☎3321-2731
 この春オープンしたカスカード北野
 坂店は、神戸の街の人気ショップです。
 深夜1..00まで営業しています。

SHOPPING

Merry
Christmas

神戸で過す甘美な
エキゾチック クリスマス
for sending love to you.



● ブティック
リンクス
元町通2丁目 ☎331-0822
リンクスは、Lサイズを中心に幅広いサイズ展開。洗練されたファッショ
ンが売り物のニューシヨップです。



● CDフランチャイズシヨップ
クリスマスチャンディオール
元町通3丁目バルロレビルF ☎391-0464
「85CDカレンダープレセント」
12月10日〜25日までに2万円以上お買い上げ
のお客様に、「85CDカレンダー」をプレゼント
同時に「ベル・メーンパリスカード」も発行中。



● 部屋着と小物
アンジュ・ブラン
中央区北野町4丁目12-6
☎222-1181
12月8日オープン。
真白な木綿とレースの夢を
おとどけます。

● 京出所
● 真入贈り
● にしむらぬ珠
● 真入贈り
● にしむらぬ珠
中山手通り



● 宝石・アクセサリー・雑貨
杏〈アンス〉
センタープラザ1F ☎332-3907
タイピン・バッグが多数入荷中。ク
リスマスには、ダンヒル・ミラシヨ
ーのタイを贈り物に。



料理が美味しい。水が美味しい。



「花銀」では全ての料理に自社の〈六甲山、ミネラルウォーター〉を使用しております。この水は布引の水として、古くから有名な神戸・六甲山系の深層天然地下水です。健康と活力と美容の源であるミネラルを自然に含有し、1ℓ中のミネラル総硬度は100mg以上、イオン総量は40mgを超える高品質のミネラル水でおいしさも格別です。

※忘年会・新年会には魚ちり、鍋物に定評のある「花銀」別館(座敷)をご利用下さい。

鮓・鍋

花銀

製造・発売元・お問合せH.K.大西産業株式会社
神戸市中央区二宮町3丁目10-16(加納町3丁目交差点東) ☎078(222)2323



年越そば 初詣でのお帰りに 文楽で皿そば



受験の神様で知られる鹿島神社へ車で10分。皿そばの文楽加古川店は明姫幹線沿い。年越そばを食べてから鹿島神社へ初詣で、あるいは、その帰りにファミリーで友達同士でぜひお立寄り下さい。尚、年末は31日まで、新年は2日より平常通り営業いたします。



皿そば **文楽**

加古川店
加古川市野口町長砂1008
☎0794(25)6000



★姫路には
下手野店
国道2号線沿い
☎0792(96)3060

砥堀店
姫路バイパス沿い
☎0792(64)1133

市川橋店
国道2号線市川橋西詰
☎0792(89)4357

の3店もあります

感性豊かな都会人の酒と料理の店「マリーン」



らしいスペースで小さなパーティを望む方。どうぞ御一報、お気軽に。ジャズ歌手マリーンも時々遊びに来ます。

SPACE CREATION YAMATO MANNEQUIN

株式会社 ヤマトマネキン

〒075(313)7171 〒600 京都市下京区花屋町西大路西入

〒078(332)1371 〒650 神戸市中央区加納町3丁目1番25号

社長 榊原 順一 郎

施設の企画・設計・施工 ●電動ディスプレイ
スプレイ器具 ●パブリックスペースディスプレイ
キン・レリーフ <製造・販売・リース・レンタル>

にちは、マリーンです。
大好きな私にとって、
はとも慶すべき街です。
な神戸に

「MARLENE」がOPEN

私共々、「MARLENE」を 応援してください。



ドリンク ¥500~
料理 ¥800~

MARLENE

CAFE RESTAURANT & BAR

〒651 神戸市中央区北長狭通1-2-13

ニューリッチビル5F

Phone 078-331-9050 5:30PM~12AM



今日までに乾杯。
今日からに乾杯。



21周年記念
21BAR 立飲みコーナー
¥3

村尾育英会親睦会「関西支部総会」

恒例 紅白歌合戦
12月30日(日)
会費 ¥4400
飲み放題

歓送迎会、クラス会、小集会、パーティ、忘年会等にご利用下さい。御予算に応じます。40名様以上は貸し切りで承ります。年末30日まで 年始3日より

神戸市中央区下山手通 2丁目11-5
神戸ワシントンホテル1F



Theater Pub
Tom Chianti*

トム・キャンティ

サントリーリザーブ(シルキー)

期間 11月15日~12月30日

セール価格 ¥9,800 → ¥6,800

TEL (078) 331-2122

〈年中無休〉



リース会社に勤める3人。奇しくもマスターと同じテニススクール。「マスターとコンビを組むと勝つんです」

JAZZ & WHISKY HOUSE

SATIN DOLL.

中央区中山手通1 富士産業ビル1F
☎242-0100 無休



緋のユニフォームと懐かしいおふくろの味の数々……家庭的な雰囲気のお店を10月6日オープンしました。小山亜子 小鉢盆6種 ¥1,200/ぶたキムチ ¥1,000/ドリンク類 ¥700-

亜子のKitchen亭

中央区中山手通1-7-6 ニュー友藤ビル2F
PM5:00~AM2:00 日曜休 ☎391-5330



汽・笛・が・囁・く・クリスマス★ディナー
12/14(金)~12/28(金)

オイスターロックフォール、スモークサーモンハワイ風、コンソメマドリード風、海の幸のパイ詰め、ローストビーフ、フレッシュ・サラダ、キウイシャーベットの、パン、コーヒーマ ¥8000(税込)



ファッシャマンズ・ポート

ポータルライナー・ポートターミナル駅ビル内

☎331-0301~2 月曜日定休(12/17は定休、新年は1/3より営業)



生田の森の門前に文明開花を偲ぶレストラン。網焼きステーキととんかつが看板。加えて50種メニューが開花。

神戸ステーキとんかつ・しゃぶしゃぶ

もん

中央区北長狭通2-12-13 生田筋
11:00~21:30 第1・2・3火曜休 ☎331-0372

TASTED OF KOBÉ

中国が、仏蘭西が、神戸が味了する

クリスマスディナー 21~25日



■フランス風
中華料理

夢香亭

中央区栄町通1-3-16
チャイナコート2F
☎332-0191



■フランス料理
ビーフステーキ

フック花隈店

中央区下山手通5-8-14
☎351-5255

中国がもつ5000年の伝統と歴史。その粋を集めた中国料理に近
中国料理の新発見がお客さまを味了する。

夢香亭

代フランス料理の美粧を凝らしたモダンな味。

フランス料理が神戸で味わえグルメも喝采。気分はもうパリ
多彩なオーダーから
始まり、メインは神戸ビーフをお薦め。ワインはシャトーのグランパンからお手軽なボジョレーが味了する。

フック花隈店

神戸ステーキがもつ絶妙な賞味。「神戸ステーキを食べたい」の
友人の言葉に
1番に思
い出す店。ワインの香りと神戸肉の美味が友人達を味了する。

フック東店

友人の言葉に1番に思い出す店。ワインの香りと神戸肉の美味が友人達を味了する。



■ステーキハウス

フック東店

中央区栄町通1-2-14
☎321-3207